

## 平成 19 年度第 1 回佐倉市入札監視委員会議事概要

日 時	平成 19 年 7 月 4 日 (水) 午前 10 時 00 分 ~ 12 時 00 分
場 所	佐倉市役所 議会棟 2 階 第 2 委員会室
出席者	<p>&lt; 委 員 &gt; 湯川委員、仁平委員、関谷委員</p> <p>&lt; 事務局 &gt; 契約検査室</p> <p>&lt; 担当課 &gt; 資産税課・廃棄物対策課・下水道課・営繕課・選挙管理委員会・学務課・佐倉図書館・市民音楽ホール</p>
<b>【議事概要】</b>	
<p><b>議題 1 入札・契約の手続きの運用状況等について</b></p> <p>平成 18 年 10 月から 19 年 3 月までに実施した一般競争入札・指名競争入札・随意契約及び低入札価格調査実施案件・指名停止業者について、事務局から報告がありました。</p>	
<p><b>議題 2 制限付き一般競争入札参加資格の設定経緯等について</b></p> <p>平成 18 年 10 月から 19 年 3 月までに実施した一般競争入札・指名競争入札・随意契約の中から、当番委員が抽出した 9 件の案件について、担当職員による事業説明及び質疑応答が行われました。</p>	
<p>[ 抽出案件 ]</p> <p>市営大蛇住宅進入路等整備工事 (一般競争入札)</p> <p>CBD808 臼井 2 号枝線実施設計業務委託 (一般競争入札)</p> <p>佐倉市固定資産情報管理システムデータ修正業務委託 (随意契約)</p> <p>平成 19 年度通学路巡回警備業務委託事業 (一般競争入札)</p> <p>平成 19 年度佐倉市立図書館図書等運搬業務委託 (一般競争入札)</p> <p>統一地方選挙ポスター掲示場設置撤去業務委託 (一般競争入札)</p> <p>佐倉市長及び佐倉市議会議員一般選挙選挙公報印刷 (一般競争入札)</p> <p>平成 19 年度公共施設一般廃棄物収集運搬業務委託 (一般競争入札)</p> <p>佐倉市民音楽ホール送迎事業 (随意契約)</p>	
<p>[主な質疑内容]</p> <p>(質問)「市営大蛇住宅進入路等整備工事」の入札に参加した業者の数 5 者は、他に比べて少ないと思われませんがどうですか。</p> <p>(回答)本案件の資格者名簿の中で対象となる業者数は 43 者を確保しました。また、建設</p>	

工事の一般競争入札における参加業者数は、平均で約10者前後となっています。入札参加は業者の判断によりますので、一般競争入札だからといって多くの参加業者が望めるといった状況にはございません。

(質問) 入札参加者の5者は、少ないとは思わないということですか。

(回答) 入札に付する工事の内容や種類によって参加者数は変わる傾向がありますので、5者は必ずしも少ないとは思いません。

(質問) 入札参加資格の設定条件により参加が抑制されたのではなく、業者の経営上の戦略等による結果であると考えているということですか。

(回答) そうです。

(質問) 入札に参加した5者のそれぞれの入札金額の差が少ないと思われそうですがどうですか。また、落札率についてはどうですか。

(回答) 発注する工種によっては入札金額に差が出る場合もありますが、一概には言えないと思います。また、落札率についても同様なことが言えると思います。

(質問) 「CBD808臼井2号枝線実施設計業務委託」は、落札率が低いようですが、どうですか。

(回答) 本事業に係る経費は人件費がほとんどでありますので、企業努力により競争原理が働いたものと理解しています。なお、成果品については、支障なく納品されています。

(質問) 今回の落札金額が実際の市場価格であると考えた場合には、今後、設計の単価を見直すべきと考えますが、いかがですか。

(回答) 設計の単価を市独自で設定するのは、たいへん難しいものと考えています。そのため、今後も標準的な歩掛りを用いて積算を行っていく予定です。

(質問) 落札率が低くなっても高くなっても、それは問題ではないということですか。過去の実績を将来に活かす工夫をしてほしいと思いますがどうですか。

(回答) 標準的に設定されている技士等の人件費を、市で自由に変えてしまうことにも問題があります。市で使用しているのは、標準歩掛りですので、多少の補正はできますが、それでも、今回の低価格による単価を活かすということは、たいへん難しいと考えています。

(質問) 成果品は問題ないとのことですが、設計上に定められている各技士が、今回の設計に携わったかどうか、担当で確認をしていますか。

(回答) 技士の関与については、事業所の社員である有資格者が成果品の設計の確認をしているということを、提出された書類上で確認しています。

(質問) 今回の低落札率による単価などを、全国で使われている歩掛表に反映させるということはしていないのですか。

(回答) 歩掛表は、全国の受注実績を調査したうえで作成されていますので、過去の受注実

績が反映されているものと考えています。

(質問)「佐倉市固定資産情報管理システムデータ修正業務委託」は、落札率が高いと思われませんが、予定価格の積算はどのように行いましたか。

(回答)本事業は地図の修正業務ですので、千葉県積算基準に基づきまして、測量技士の単価を用いて積算をしています。

(質問)この事業は毎年実施しているようですが、落札金額を下げるような工夫はありますか。

(回答)落札金額は低い方が良いのですが、その方法については考えつきません。

(質問)予定価格を超える金額の提示があった場合はどうなりますか。

(回答)予定価格を超えた場合には、不調として再度見積もりを徴収します。

(質問)このような1者だけの独占では、契約金額などの主導権を相手方に握られてしまう心配がありますがどうですか。

(回答)システムを半永久的には使用しませんので、一定期間経過後にはこのシステムを新たに作り直すこととなります。その場合には、改めて入札になりますので、既存の業者に長期に渡り主導権を握られるということはありません。

(質問)「平成19年度通学路巡回警備業務委託事業」について、入札に参加した業者数が少ないと思われそうですがどうですか。

(回答)資格者名簿の対象業者数は94者ありましたが、車輛を使つての巡回警備ですので、駐車場所などの車輛の維持管理が、市外の業者においては難しいようです。

(質問)この事業を請け負った業者は、過去に何者ありましたか。

(回答)担当が把握している中では2者です。

(質問)「平成19年度佐倉市立図書館図書等運搬業務委託」は、1者しか入札参加がありませんが、専門性が高い事業なのですか。

(回答)図書の配送業務ですので、専門性は低いものと考えています。

(質問)入札参加者が少ないことについてはどうですか。

(回答)昨年も一般競争入札を行っていますが、その時は入札参加者がなく、随意契約とした経緯があります。業者サイドからみてこの事業は魅力が薄いのか、他の市町村でも入札参加者が少ないと聞いています。

(質問)前年度は随意契約であったとのことですが、請け負う業者は特定されていますか。

(回答)結果として1者になっています。

(質問)この1者は、他と比べて独自の技術などを持っているということはあるですか。

(回答)特にありません。

(質問)「統一地方選挙ポスター掲示場設置撤去業務委託」は、入札参加資格の実績要件により参加が制約され1者のみの参加となったものと考えますが、いかがですか。

(回答)279箇所という多くの設置箇所に加え、指定された期日までに履行しなければならないことから、実績要件を設定しました。ただし、地域要件につきましては県外まで拡げていますので、対象となる業者は他にも存在するものと考えています。

(質問)このような実績経験を資格要件としなければいけないといった選挙関係の法律的な制約はありますか。

(回答)掲示するポスターのサイズ等について規定はされていますが、それ以外には特に規制はありません。

(質問)これまでも選挙関係については、このような実績要件を付けていましたか。

(回答)これまでは指名競争入札または随意契約を行っていました。今回、初めて一般競争入札を実施しましたので、実績要件を設定しました。

(質問)今回の業者は、これまでの随意契約を行っていた業者と同じですか。

(回答)前回の衆議院の選挙の時と同じ業者です。

(質問)この業務は、常に特定の業者に依頼するような形になるのでしょうか。

(回答)落札した業者は、選挙用品等を専門に扱っている業者ですので、選挙関係の発注になれば、やはり受注する機会が多くなります。

(質問)「佐倉市長及び佐倉市議会議員一般選挙選挙公報印刷」について、ポスターと同じ業者が落札していますが、どうしてですか。

(回答)この業者は、選挙関係の業務を主に行っている業者で、印刷についても、選挙関係ということで、他の業者よりも安くすることが出来たものと考えています。

(質問)この事業の予定価格はどのように積算しましたか。

(回答)予定価格の基となる設計金額については、実勢価格や物価本の単価を基に積算しています。また、予算編成時には、業者からも見積もりを徴取していますので、そういったものも勘案しながら設定しています。

(質問)その予定価格が実勢価格に近いものだとしますと、この低い落札率についてはどう考えますか。

(回答)入札に参加した2者すべてが低い価格を提示してくれば、それが実勢価格であるものとも考えることもできると思いますが、落札できなかった1者については、それなりの金額で入札しています。これは、落札した業者の企業努力と考えています。

(質問)たとえこれが企業努力であったとしても、入札金額に大きな開きが出たことについてはどのように考えますか。

(回答)印刷関係の入札については、他の案件でも低下価格で落札しているものが見受けられます。

(質問)今回のような予定価格と入札価格との開きを考慮して、今後の積算については見直

しを行うといったことは考えていますか。

(回答)印刷料金も低下傾向にありますので、そういった動向を見極めながら、予定価格の設定について検討してまいりたいと考えています。

(質問)ポスターも印刷も資格要件で過去5年間の実績を求めています。選挙は毎年実施されないことから、実績を持つ業者は限られてくるのではないですか。

(回答)選挙関係は、短期間で作業を行うことから、適正な履行を考えると、実績要件は必要であるものと思われます。この実績も、佐倉市における実績のみに限定しているわけではなく、他の自治体における実績も可としていますので、対象となる業者は多いものと思われます。

(質問)「平成19年度公共施設一般廃棄物収集運搬業務委託」について、この入札の参加にはどのような資格が必要ですか。

(回答)廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けている業者で、佐倉市入札参加資格者名簿に登載されていることです。

(質問)許可業者が20人で名簿登載業者が9者とのことですが、この資格者名簿に入ることができる要件は何ですか。

(回答)資格者名簿は、自治法の規定により作成していますが、名簿に登載を希望する者の申請を受け、一定の審査基準を満たしていれば、誰でも登載が可能です。この資格者名簿に登載がなければ、佐倉市の入札に参加することはできません。

(質問)ここ数年における落札業者の入れ替わり状況はどうですか。

(回答)ここ数年は、ほぼ同じ業者です。この業者は、佐倉市における廃棄物収集運搬の経験が豊富ですので、そのノウハウを活かして、低価格での入札が可能であるものと思われます。

(質問)「佐倉市民音楽ホール送迎事業」は、随意契約としていますが、他に請け負うことができる業者がありそうですが、どうですか。

(回答)この事業は、市内の小中学校から音楽ホールへ児童・生徒を送迎する事業ですが、運行時間は30分程度ですので必ずしも座席が必要なわけではなく、また観光バスよりも路線バスの方が一度に多くの人数の送迎が可能なこと、路線バスの方がコストパフォーマンスは高いと考えました。また、児童・生徒を安全に送迎することを考えますと、普段から路線バスを運行している市内の路線バス運行事業者が適しているものと、さらに、音楽ホールは、駐車場のスペースに乏しいことから、もともと大型バスの駐車場を有している市内の業者であれば、送迎時以外のバスの駐車は自社の駐車場を使うということで問題もないため、市内のバス路線運行事業者1者の随意契約となりました。

(質問)予定価格の積算はどのようにしましたか。

(回答)過去に佐倉市で発注した同種の事業の実績を基に積算をしています。また、同種であっても、観光バスと路線バスとでは価格差がありますので、そういった点にも十分注意して積算をしています。運送法の規制緩和により、価格は多少、安くなっているものと認識しています。

議題3 その他

- ・ 次回の審議事案抽出の当番委員を決定しました。
- ・ 次回の会議は、平成20年1月23日(水)を予定します。

以上